

**原子力基礎基盤戦略研究イニシアティブ  
戦略的原子力共同研究プログラム 事後評価総合所見**

<p>研究課題名：地震加速度付加時の気液二相流の詳細予測技術高度化に関する研究</p> <p>研究代表者（研究機関名）：阿部豊（国立大学法人筑波大学） 再委託先研究責任者（研究機関名）：高瀬和之（独立行政法人日本原子力研究開発機構）</p> <p>研究期間及び研究経費：平成22年度～平成24年度（3年計画） 88百万円</p>	
項 目	要 約
1. 研究の概要	<p>実験的手法と計算科学的手法を組み合わせた基礎・基盤的な研究により、様々なモードや振動数の加振による気液二相流挙動についての実験的知見を収集するとともに、その実験結果を検証データベースとして構築し、地震動からの様々な加振モードや振動数に対する気液二相流応答特性の詳細な予測を可能とする手法を開発した。</p>
2. 総合評価	<p style="text-align: center;"><b>S</b></p> <p>中越沖地震や東日本大地震の例のように地震の多い我が国において、地震加速度付加時の気液二相流特性を詳細解析する手法の開発は非常に重要であり、その基礎研究である本研究は非常に意義深い。本研究では研究目標を高く設定しており、それを全て十分に達成していることは、極めて優れた成果が挙げられていると評価できる。</p> <p><b>S) 極めて優れた成果が挙げられている</b>  A) 優れた成果が挙げられている  B) 一部を除き、相応の成果が挙げられている  C) 部分的な成果に留まっている  D) 成果がほとんど挙げられていない</p>